

イクボス十カ条

- ①理解 : 部下が、子育て・介護・地域活動などのライフに時間を割くことへ、理解を示していること。
- ②多様性 : ライフに時間を割いている部下を、差別や冷遇せず、ダイバーシティな経営をしていること。
- ③知識 : ライフのための社内制度(育休制度など)や法律(労基法など)を、知っていること。
- ④組織浸透 : 管轄している組織全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くよう、推奨し広めていること。
- ⑤配慮 : 転勤や単身赴任など、部下のライフに大きく影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。

イクボス十カ条

- ⑥ **業務改善** : 育休・介休取得者などが出て業務が滞らないよう、情報共有やチームワーク醸成の手段を講じていること。
- ⑦ **時間捻出** : 部下がライフの時間を取りやすいよう、会議や書類の削減、意思決定の迅速化などを進めていること。
- ⑧ **経営目線** : ボスの上司や人事部などに対し、社員のライフを重視した経営をするよう、提言していること。
- ⑨ **自らWLB** : ボス自ら、仕事×私生活×社会貢献というWLBを重視し、楽しんでいること。
- ⑩ **業績達成** : 組織の長として、職責を全うし、業績やコミットメントを果たしていること。

業務量をチェックする

<従業員>

- 働き方の見直しで効率アップ（時間意識、情報共有）
- イニシアティブを持った働き方・考え方

<管理職>

- 業務の絶対量の洗い出し（削減した残業を上司がかぶらない）
- 無駄な業務の縮小（多すぎる書類、決裁者が多い）
- 人員配置（人を増やす、人を変える、人を分ける＝アルバイトを入れるなど）

今と夢を語る 風通しを良くする

→いい人材を逃がさない。いい人材が集まる

<今を知る>

- 従業員の状況を知る。働き方を工夫する
- 個人の悩みやストレスを軽減する

<夢を語る>

- 上司に提案できる（新規事業、業務改革など）